

第16回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事要旨

日 時 平成26年10月1日(水) 15:00~16:42
場 所 高山市役所 2階 201・202 会議室
出席委員 16名

《会長あいさつ》

《議 事》

地元伝統技術の活用について

—地元伝統技術の活用について事務局より説明—

【会 長】 それではただいま説明のありました地元伝統技術の活用について、皆様の意見を伺いたい。

【委 員】 屋台の一部分を展示するのもいいが、屋台全体を見てみたいという人もいると思うので、屋台全体の展示もどこかに一か所あるといいと思う。展示スペースが限られてしまうのであれば、パネルでの展示や映像で映し出す方法もあると思う。

【委 員】 屋台の展示については賛成です。伝統技術には春慶などいろいろあるが、そういったものを全体ではなく少し、壁面の板の中に組み込むことができたら面白いと思う。展示物は新たに作るものだけでなく、古い屋台の部品を磨いて使うと思うが、屋台の部品は修理では古いものの代わりに新しいものを作るということがないので、これは腐っているのではないかといったことがあったりするが、その辺の調和を図る必要があると思う。無機質的な自由通路の中に伝統技術の展示という対比はかなり強いほうが良いと思う。

【委 員】 東西のエスカレーターのところに大きな空間があるので、そこでのデジタルサイネージの利用をご検討いただきたいと思う。

【委 員】 屋台という文化財は大切にしなければいけないと思う。ただ、「どうだ。これが屋台だ。」「屋台を見よ。」というような雰囲気がないとも言えない。例えば久しぶりに高山に帰ってきた時に、帰ってきたなと思う時は風景や街並み、ここにこんな店があったなという思いからだと思う。高山は観光

客のリピーターが結構多いです。屋台や一刀彫がいいからなのかもしれないが、高山の人々の生活や文化に憧れてまた来たいと思うのが一番大きいと思う。その意味ではあまり雰囲気的に「どうだ。これが屋台だ。」というものよりも、駅を降りたときにほっとする雰囲気、それは壁や天井が街並みのようになっているのかもしれないが、あまり「どうだ。これが屋台だ。」というようなものは前面に出さないほうが、古都高山らしいのではないかと思う。

なぜこんなことを言うのかというと、実はこの前、高山市文化協会でも鑑定団に出演されている鑑定士の中島誠之助さんの講演会を開催しました。中島さんにはいろんな話をさせていただきましたが、「昔、高山で全面ロケを行った遠い雲という映画がありましたが見たことありますか。」と聞かれました。ほとんどのお客さんが知りませんでした。昭和30年の映画で監督は木下恵介、俳優は高峰秀子、佐田啓二、田村高廣です。その映画に出てくるのが平瀬酒造さんの中や三之町、祭りの風景も出てくるのですが、文化協会にDVDがあったので見たのですが、やはり映画全体に流れる雰囲気は人々の生活、街並みです。高山の文化、雰囲気を大事にしてほしいという中島さんなりの言い方だったのだと思いますし、中島さん自身、若い頃何度も高山に来ています。高山にもものすごく詳しい。えび坂を上ったところのあそこの角の骨董屋さんがどうだというような話がどんどん出てくるのです。そういうような何十年先でも、見たときに高山らしい町並み、雰囲気が通路にあれば、帰ってきた時に私たちはほっとするという思いはある。

【委員】 屋台の一部分だけではなかなか理解できない。屋台会館へ入ると、最初に屋台があって最後に一部分がある。日本橋三越の地下の通路には、日本橋の江戸時代の絵が展示されている。それを見ると皆さん「こんな風になっていたのか。」と言われる。絵巻に行列や屋台が表現されている。全体を見せた後に部分を見せるという方法で展示している。

難しいと思うのは、屋台保存会の方とお話しされたかどうかは知りませんが、部分という話になるとどこの屋台にするのか、どうしてその屋台が選ばれたのかという話になると、高山の人はそういうことを意外とこだわるところがあるので、その辺の屋台組の皆様の理解をいただけるような考え方も必要だと思う。

【事務局】 先程おっしゃられました全体像ということですが、私どもは屋台を知っているのですが、部品を見て屋台のどの部分ということは分かりますが、初めて見られる方はそういう理解は難しいのかなと思いましたので、その辺は何らかの工夫をしたいと思います。

【委員】 私も屋台の一部分よりも日本三大美祭と言われる高山祭が、行列があって屋台があってというような雰囲気のもとに、こういった細かいものがあったてもいいと思う。

質問ですが、こういう細かいものが並んでいて、子供や障害者の方の目線から見るとあの位置が適当なのか、音で表現するものが出てくるのか、手摺の下に点字ブロックを打たれるのかについてお聞きしたい。

【事務局】 私どももブレスがどういう大きさで、そこにどのように展示物を入れるのかということ、まず構造ありきで考えていましたので、詳細設計の中で生かしていきたいと思います。子供や車椅子の方の目線についてもこれから考えていきたいと思います。

【委員】 自由通路の天井高には制約があるが、飛騨山脈や祭りの行列は横に長いので、そういうものを少し入れるといいと思う。現在の案は屋台押しとなっているが、それは高山を観光してもらえば分かるので、祭り、古い街並み、そして飛騨山脈も少し入れて、写真やパネルなどを使った方がいいと思う。現在の案は芸術が好きな人にはいいが、細々過ぎて大らかさがなく、屋台の一本やりで本当に高山に来たという感じにならないと思う。どうしても見たい人は街へ行って見てもらえばいいので、わざわざ自由通路に展示する必要があるのかなと思う。そして、屋台は小さくても全体のものは飾っていないと、芸術好きな人にはいいが物足りないと思う。

【会長】 これまで7名の方に賜りましたご意見を簡単にまとめますと、部分よりも全体、ほっとする雰囲気、四季を表現、子供や障害者の目線ということでした。本物は街中に行けばあるので、ここに大金をかけて展示する必要があるのかというような趣旨の意見もありました。展示することを前提に議論が始まっていますが、そもそも展示する必要があるのかということも意見としてあるかと思えます。この辺りも含めて何かご意見を賜ればと思います。

一つ質問ですが、自由通路を通過して東西に降りられる人の割合はどれくらいですか。

【事務局】 例えばひだホテルさんは駅の東側、グリーンホテルさんは駅の西側というように、東西それぞれにホテル、旅館等がありますし、市民の方の動き方も推測しますと、東6割、西4割くらいではないかと思っています。

先程もお話ししましたが、自由通路から見える風景は、私どもにはいつ

も見慣れている風景ですので、特段すごい風景ではないですが、初めて来られた方にしてみるとずっと山が見えます。高山の通りに出ると当然盆地ですので、通りの向こうにはずっと山が見えているわけです。高山はいつ行っても緑が多い街ということが一つの印象ではないかと思っている中で、初めて降りられた方には、何かを作るよりはスカッとした景観で山並みが見えたりする方が、かえっていいのではないかと考え、あえてガラス張りにしています。

【会 長】 自由通路を利用される方が、地元の方が多いのか、初めて来られる方が多いのかという事で、どういう風に設計したら目を引く、あるいは高山らしさを感じてもらえるかということも関係するかなと思って質問しました。

【委 員】 私は出張でいろんな駅に行きますが、自由通路でゆっくり立ち止まって何かをするというようなことはあまりありません。それはなぜかと言うと、目的があって来ているので早く出て行く方が多いと思う。ですからそんなに展示物を並べなくていいと思う。何にもないのはせっかくの40メートルがもったいないですが、先程どなたか高山らしい雰囲気と言っていました。祭りだけではなく、山が見えるというのはいいと思う。何度も高山へ来る私の知人は祭りだけで来ていませんので、その何でもない田んぼや山の風景の中に街があることで来ている。

祭りだけを押し出すのはあまり賛成できません。これも皆さんがおっしゃっていたのですが、一部分は専門家にはいいと思うが、一般の人には何らかの形で全体を見せる方がいいと思う。大きさは街に行ってみてもら方がいいと思う。この案は展示物がありすぎるような気がする。

【委 員】 空が真っ青な時には山がものすごく綺麗なので、片面を全部ガラス張りにしてもいいと思う。屋台は春と秋を合わせて25台あるが、その中の1台を展示するのは何かとコストがかかると思うし、いろんな面で私も屋台にこだわらなくてもいいと思う。

【委 員】 今、自由通路と駅舎を含めた全体の色のイメージが湧かないのですが、色も含めての自由通路の構成だと思う。それと色々な意見があるとは思いますが、駅は起点であって街に行けば街並みが見える、屋台会館に行けば屋台が見える、山へ行けば山が見えるので、全部集めてどうということではできないと思うが、その中からピックアップしてイメージとして何とかできないかと思う。

駅舎の壁面は非常に大きいですから、これが例えば白い壁ですと自由通

路が浮いてしまうので、やはり全体として考えて自由通路の屋台は屋台としていろんな飾り方があると思う。ただ風景を付けることもできないし、街並みには感じとしてはできるが、安っぽいものになってはいけないので、やはり屋台の部分にしても何にしても、作るのであればその一部分であっても本物を作りたいということもあると思う。全体としての色の流れとか、今の感じとしては例えば茶色なのか、緑なのか、灰色なのか、基本的にこういったものを今考えているのかをお聞きしたい。

【事務局】 設計者の内藤廣さんに監修を全部お願いしてしまっていて、色合いについてはまだ決まっていますが、全体のイメージの中であえて駅舎、自由通路を全面的に表に出そうという意図はないと聞いています。目立ったことも派手なこともない、さりげない感じで作っていただいている最中です。

いずれにしてもデザインというのは、皆さんに好き嫌いがそれぞれあると思いますので、デザインについての議論はなかなか難しいと思いますが、私どもとすれば、私が今お話しさせていただいたように、当初から駅舎、自由通路は目立つ構造物を作るわけではなく、さりげないものを作っていくという大きなコンセプトがありますので、その意図で設計者の方をお願いしている点もありますので、本日お聞きした意見は設計者にももちろんお伝えはしますが、最終的には設計者の意図を尊重したいと考えています。

【会長】 ここで何か結論を出すということではなくて、色々な角度で皆様からご意見を賜って、設計者の方にその意図を汲んで設計していただくという趣旨ですので、自由にご発言いただきたいと思います。

【委員】 子供のためのものが、何か一つでもあると喜んでくれるのではないかと。それと貴重な屋台を24時間通行できる場所に展示すると防犯は大丈夫ですか。

【事務局】 私どもの最大の課題は今おっしゃられたことです。自由通路を博物館にしたいとは全く思っていないので、本物の屋台には触れませんが、ここでは触ってもらえるといいなという思いはあります。ただ、屋台保存会の方々が大切にしている宝を貸していただいて、触らせていただくことを許可していただけるのかということは、相談する必要があります。また、防犯については、スプレーで落書きする方や盗む方がいるかもしれないので、ガラスケースに入れる、防犯カメラを設置する、センサーを設置するなどのいろんなやり方があると思いますが、これは課題点として考えていきたいと思っています。ただあまりやりすぎると、せつかくの空間が何を展示

しているのか分からなくなる恐れもありますので、その辺が非常に難しいと思っています。

【委員】 先程どなたかから自由通路の片面を全部ガラス張りにしてもいいのではないかという意見がありました。するかどうかは別として構造的に可能ですか。

【事務局】 構造的には可能です。

【委員】 自由通路の片面を全部ガラス張りにする必要はないかもしれないが、外を見せることはいいと思う。風景を見慣れている私達は何とも思わないが、観光客は皆さん山並みがいいと言われる。ガラス部分をもう少し広くするという方法もある。

【副会長】 私はいろいろなお客様をミュージアムの中にご案内しますが、お客様が非常に興味を示されるのは、例えば春慶では完成品ではなく、木地師と塗り師がいるということです。木地師がろくろでこういうものを作って、塗り師が塗っているという途中経過を見せると、皆さん非常に興味を示されます。他にも例えば杉板の圧縮材の家具がありますが、圧縮によりこの厚さが半分になって、広葉樹の厚さになって、そこから間引きの技術でこうなっていますという過程を圧縮のモデルを持って来て見せると、非常に興味を示されます。一刀彫も完成までの過程を途中で止めていただいたものを5つ作っていただいて展示していたのですが、一刀彫のことがよく分かります。

屋台の本物は駅の外へ行けば見られる状況で、屋台を展示するのであれば、屋台の塗る前の形はどうなっているのか、春慶の木地の状況と塗った時の状況が見られるとか、やはり伝統技術を見せるための場所ではないかと思う。そうすると展示を見られてから外へ行って本物を見て、「これはこうなっていたのか。」「あれがこうなるのか。」とか、逆に駅へ帰って来て次の列車までの待ち時間に、「見てきたあれは中がこうなっていたのか。」ということが分かる。そういう情報を中心にやるべきだと思う。

屋台は作られてもいいが、あそこまできらびやかなものを作る必要があるのかなと思う。きらびやかなものがどうしても見たい場合は、それをやる技術が今の時代はあるので、木地のまま作っておいてそれを色づけるのは、会長のご専門になるので後で補足していただきたいと思いますが、伝統技術を見せるには、いっぱい飾ることも大事かもしれないが、完成前の段階を見せるのがいいのではないかと思う。そういうものに色を付ける方法を、会長が

からお話しただけだと思います。

【会 長】 例えば、自由通路の壁面に白や淡い色をベースとしたレリーフを作り、そこに高山の絵巻物のような感じで屋台、古い街並み、春慶などをデザインし、例えば毎時0分になったら屋台のところにプロジェクションマッピングで色々操作をする。屋台が出来上がって、春祭り、秋祭りといった感じで表現する。ある時間になったら例えば春慶のところにスポットが当てられて、こういう形で春慶が出来上がっていく、完成品はこんなですよというように動きを入れることができるのではないかと思う。普段は淡い色で落ち着いた感じで、夜に見るとレリーフで絵が彫ってある。プロジェクションマッピングの内容を5年くらいで更新していくことで、50年、100年飽きることなく使えるのではないかと思う。こんなアイデアもあるのではないかとということで紹介させていただきました。

《議 事》

自由通路及び高山駅東西口駅前広場の利活用について

—自由通路及び高山駅東西口駅前広場の利活用について事務局より説明—

【会 長】 それではただいま説明のありました自由通路及び高山駅東西口駅前広場の利活用について、皆様の意見を伺いたい。

【委 員】 先程、エスカレーター周辺でのデジタルサイネージのお話をさせていただいたが、その辺りしか動くものや映像などが想定されていないので、その辺りにデジタルサイネージで観光情報以外にも仕掛けができるのではないかと思う。

駅前広場については、これだけ総合的に計画している中で、変な構築物を作るのはあまりよろしくないと思うので、すっきりとしたデザインで基本的な機能だけをきちっと入れていくということでもいいと思う。大きなイベントをやることは考えづらいと思うので、基本的にセレモニーのための仕掛けは必要だが、逆に仕掛けをするとイベントをやらなければならないので、逆にない方がいいのかなと思う。

【委 員】 イベントができる場所はありますか。

【事務局】 回廊広場くらいしかありません。面積は約千平方メートルで市民広場程度の大きさです。

【委員】 回廊広場で食品を扱ったイベントをやりたいという希望はあるが、ちょっと無理ではないかと思う。ですから東口広場は諦めて、西口広場でできないかと思っている。

私達は自分たちの地域の商品を宣伝してもらいたいという思いがある。高山駅前で地域の商品を観光客にPRすることは大事なことだが、東口広場ではそういうことは無理ではないかと思うので、駅の中に展示していただくなど、高山市にはこんな素晴らしいものがあるというようなことを宣伝していただきたいと思う。

【委員】 1、2年後よりももっと先のことを考えると、イベントをやることもありうると思う。先程の情報発信の意見については非常に賛成だが、イベントができるようなコンセントなどの設備は考えておくべきではないかと思う。いざという時にはできる最低限の設備だけは考えられたらと思う。

【委員】 1つお聞きしたいのですが、駅前広場の使用許可については、現在はJRさんの許可が必要ですが、新しい駅前広場はどうなりますか。

【事務局】 現在の駅前広場はほとんどがJRさんの土地ですので、JRさんの許可が必要ですが、新しい駅前広場は高山市が管理しますので、JRさんへの申請は必要ありません。

【委員】 イベントがどうしても必要になることはあると思うが、基本的には静かな空間になってほしいと思う。これからは大きなイベントの時代は終わると思う。携帯やスマホでWiFiを使って、一元化されたホームページやブログなどを見ながら動くという時代になると思うので、わざわざ予算をかけて盛大にやる必要はないと思う。恐らく10年たったら使わなくなると思う。もう少し先を見たものの方がいいのかなとは思う。

【会長】 要するにWiFiのアクセスポイントを設置して、それでアクセスしてもらうためのウェブページをしっかりと整備した方がいいでしょうというご意見ですね。

【委員】 お客様から乗降客数に対して待合スペースが少し狭いのではないかとというようなご意見をいただいている。逆に待合スペースが開放的なのか、自由通路に人があふれてしまわないかと前々から懸念しているので、もう一度待合スペースの量と形について協議事項に入れていただけないかと思う。

【事務局】 待合スペースの収容人数については、JRさんからはお聞きしていません。

【委員】 お客様から、図面を見る限りでは少し狭いのではないかというご意見をいただいている。

【会長】 以前、東口駅前広場に屋根を付けてそこを待合スペースにという意見が出たような気がしますが、どうなりましたか。

【事務局】 以前、そういう意見をいただきまして計画していますが、現在、詳細設計を行っておりまだお答えできない状況です。申し訳ございません。

【会長】 皆様から賜りましたご意見を簡単にまとめてみます。

地元伝統技術の活用については、展示物に対するご意見と展示物でなくともいいというご意見、展示物は部分よりも全体を見せた方がいいというご意見と部分を見せた方がいいというご意見、展示物は止まっているよりも動くような工夫をすると良いというご意見、自由通路の片面はガラス張りにすると良いというご意見、色合いなど全体のイメージにも注意する必要があるというご意見、子供や障害者の目線も考慮してほしいというご意見、他にも色々なご意見を賜りました。

自由通路及び高山駅東西口駅前広場の利活用については、情報提供に配慮してほしいというご意見、将来的な展望も念頭に入れてイベントについても想定して設計すると良いというご意見を賜りました。

色々のご意見を賜り、本当にありがとうございました。ここで何か結論を出すというようなことはしません。皆様のご意見を設計に反映していただければ、事務局の方で取り図っていただければ幸いです。